

湯気の向こうに 日本の文化が見える!! 「スーパー銭湯」を 体験してみませんか



火山国である日本列島には多くの温泉がわき、世界的にも日本人はお風呂好きと言われています。

お風呂の習慣は、6世紀に仏教の伝来とともに風呂に入ると、「七病を除き、七福が得られる」と言うキャッチフレーズ?で中国から伝わったそうです。

今、お風呂と言えば「自宅で」といえますが、数年前から人気が出始めた多目的公衆浴場「スーパー銭湯」は、独自に掘り当てた温泉を売り物に、新しいレジャー施設を取り入れたご近所の温泉地として人気を呼んでいます。そこで日本人を理解する近道の一つとして”湯気の向こうに日本の文化!!”「スーパー銭湯」にトライしてみてもいいのではないでしょうか。



●スーパー銭湯とは・・・大浴場、温泉による露天風呂、蒸し風呂、打たせ湯、岩盤浴、ジャグジーなどの浴室のほかに、休憩所、外食施設を持った公衆浴場です。地下1500～1700メートルから出る温泉を売り物にした所が多くなりました。



●入場の方法・・・スーパー銭湯の入場料金は600円から700円位です。建物の中に入ると、靴箱がありますので100円を入れて履物を入れ、鍵をかけてください。鍵を開けるとお金は返ってきます。次に自動販売機で入場券を買い、受付に出してください。あとはお風呂に入るだけ。ボディソープやシャンプー、リンスはお風呂場に用意されていますので、タオルだけを持って入ります。お風呂は男女別ですので注意してください。



●お風呂場への行き方・・・お風呂場にはロッカーがあります。キーがついている所が空いているロッカーです。使えるロッカーは一人1個で100円を入れ(お金が要らない所もあります)、着ている物をしまします。ロッカー室では携帯電話や写真の使用は禁止です。飲み物もお風呂場へ持っては入れません。中に水飲み場があります。



●お風呂場の入り方・・・一般的に浴室に入る時、男性は下半身、女性はバストから下をタオルで覆って歩くのが基本的なマナーです。

- ①お湯に入る前に、いつもお湯が流れている掛け湯場所で、そこにあるおけを使い、身体をお湯で流し、お湯に慣らしましょう。
- ②お酒を飲んで(泥酔)の入浴は禁止されています。
- ③長い髪は束ねて、お湯につからないようにして入りましょう。
- ④お風呂の中にはタオルを入れてはいけません。
- ⑤周りの人にお湯や水、石鹸の泡などがかからないようにしましょう。



⑥刺青（タトゥ）のある方、暴力団員は入れません。また日常おむつを利用されておられる大人の方も入れません。乳幼児(赤ちゃん)を連れてでも入れません。

⑦長風呂には注意しましょう。湯あたりで倒れる方が多いそうです。

⑧浴槽の中では身体は洗えません。



●お風呂場から出る時・・・①お風呂から脱衣所に行く時は、濡れたまま出ないでください。必ず、よく体を拭いてから出ましょう。

②パウダーコーナーは一人占めすることなく、譲り合って使いましょう。

2月はノロウィルスの最盛期です。帰宅後すぐに丁寧に手洗いをしましょう。

平成25年1月に 富士見市「ふるさとハローワーク」が誕生しました



富士見市では、ハローワーク川越と共同で事業を運営する施設を作りました。

これまで川越まで行かなければならなかった仕事探しが身近で出来るようになったのです。場所は、鶴瀬駅のビル西口の中にあるサンライトホールです。ただし駐車場はありませんので近くの駐車場を利用することになります。

利用日 月～金曜(祝日・年末を除きます)
午前9時～午後5時

仕事の内容

- ★タッチパネル式求人検索パソコン(2台)を利用した求人情報の提供
- ★専任の相談員による職業相談、職業紹介
- ★仕事に就けるように支援をすることを目的としたセミナーの情報提供など

●問い合わせ

富士見市ふるさとハローワーク
☎ 049-253-8581

平成25年度 小・中・特別支援学校 入学説明会が始まります

今年の春入学する児童・生徒の保護者の皆さんを対象にした学校説明会が始まります。1月上旬には役所から就学通知書が郵送されているはずですので、お子さんがどの学校に入るか確認したうえで、説明会に参加してください。特に他の地区から転入された方は、案内が届いていない場合もありますので、役所にお問い合わせください。なお、中学校の就学通知書は、小学校(6年生児童)を通じ配布されています。

就学通知書は、住民票の世帯主あてに送られています。

1時間300円で”悩み解消”できます

「お困り事がありましたらお電話ください。1時間300円でお手伝いします」こんなキャッチフレーズで、活動しているのは **NPO 法人ふじみ野明るい社会づくりの会**です。ここでは有償ボランティアの皆さんが、高齢者や子育て中の家庭などを中心に、子育て、掃除、通院、軽い修繕、付き添いなどのお手伝いを、1時間300円でしてくれます。頼める人がいない、時間がない、知人であっても頼みづらい、そんなときは相談してみてもいいでしょうか。連絡先

ふじみ野市支え愛センター(9時～4時半)
☎ 049-293-6266

www.ficcc.jp/living/

●情報の詳しい説明は「ふじみの国際交流センター」049-256-4290 へ